



安倍政権の退陣を要求する6・10国会包囲行動(「赤旗」写真部提供)

同盟創立50周年 会員拡大の飛躍を 野党と市民の共同強め安倍政権の退陣を



No.529

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

主 な 記 事

- 各県本部大会・総会始まる
 - 私も一言／川嶋 均・東京藝大非常勤講師
 - 顕彰碑／最後の俳句弾圧犠牲者句碑 加才信夫
 - 抵抗の群像／北海道農民運動・九州党再建の西田信春
 - 同盟文芸／短歌・俳句・川柳
- 7 6 5 3 2

歴史的な米朝首脳会談(6月12日)が行われ、「平和と繁栄にむけた両国民の願いに従って、新しい米朝関係を確立する」とし、朝鮮半島の平和体制の構築と、完全な非核化を共同声明で発表しました。全世界の人々が、核戦争の脅威から抜け出す扉が開かれたことです。在日米軍、日米安保条約が根本から問われ、安倍内閣の戦争法、辺野古新基地建設、9条改憲の根拠は総崩れです。心から歓迎します。

2万人の同盟建設を決めた第38回全国大会から6月で1年になりました。3月15日の同盟創立50周年記念日以降、4月には、27都道府県で193人、5月には31都道府県で157人、6月には29都道府県で133人が入会し、大会比619人増の1万5957人に到達しました。

国会請願署名の目標達成は、岩手、群馬、富山、長崎の4県で、全国的には19万4313筆にとどまりました。

一方、国会請願の紹介議員は6月28日現在、衆議院議員69、参議院議員32、合計101議員です。このうち、はじめて紹介議員になった議員は24人です。これは、各地域で「市民と野党の共同」の闘いがつくりだした成果です。安倍政権退陣の闘いと結んで、さらに前進させましょう。

各都道府県本部の大会・総会が始まっています。4月中央理事会で決めた2万人会員拡大をはじめ「創立50周年記念同盟運動躍進年間」の諸課題を具体化しましょう。

50周年飛躍をめざし県本部大会・総会始まる

第29回秋田県本部総会

秋田県本部は、6月8日45人(うち女性15人)の代議員が参加し第29回定期総会を開きました。

県革新懇、国民救援会、日本共産党秋田県委員会の代表があいさつを述べました。

総会は「『同盟創立50周年』と来年の『県同盟創立30周年』を、学習と顕彰運動を強め、署名と会員拡大の高揚のなかで迎えよう」と方針を決めました。10人が「女性部と女性会員拡大」「地上イージス配備反対」「財政問題」など



について発言しました。総会では「イージス・アシオア断固反対、安倍の9条改憲反対」の総会決議を

採択し、安倍総理に送付しました。最上会長を再任、新しい事務局長に藤田精士氏を選出しました。

(秋田・最上健造)

第32回奈良県本部大会

5月19日に、第32回奈良県本部大会は同盟創立50周年の年にふさわしい前進を勝ち取ろうと確認。

市民連合奈良の共同代表・溝川悠介さん(県本部顧問)が、「治安維持法に抗って―父良治の足跡」と題して、父・溝川良治さんの獄中から家族に宛てた8通の手紙にふれ、「父の遺志を引き継ぎ闘い抜く」と力を込めて語りました。

大会には、支部の代議員と県本部役員を中心に20人が参加、5人が発言、創立50周年の年にふさわしい前進を勝ち取ろうと決意を固めあいました。

田辺実会長、加藤宣之事務局長ら18年度役員を選出しました。

(奈良・田辺 実)

第28回島根県本部大会

6月23日県本部大会を出雲市民

会館で開催しました。最初に、「青い空は」と「折鶴」を合唱、

来賓の日本共産党大田陽介県会議員より挨拶を受け中央本部増本一彦会長からのメッセージを皆で読み合わせました。『抵抗の群像Ⅲ』

に掲載された島根県の高森ひろたかの業績や「自分の棺は赤旗で包むように」との遺言に参加者一同心新たにしました。佐々木会長代行より活動報告及び運動方針の説明を受け討論に入りました。

松江支部2人から署名のとりくみで工夫している点や新たな支部作りへの関わりが話され、益田支部より野党や労働組合への訴えにより署名が目標の165%達成した教訓が語られました。参加者は18人でしたが、それぞれの思いが語られ県内の活動状況が共有できた有意義な大会となりました。「創立50周年同盟躍進年間」を島根としても頑張ることを確認しました。

会長渡部節雄、会長代行佐々木忠旦、事務局長小玉信恵を選出。

(島根・小玉信恵)

(3ページへつづく)



七夕も終わって、いよいよ夏本番を迎えています。七夕の起源は中国の星まつりとか。ひこ星とひ

め星が7月7日の夜に出会うのだと伝えられています。子どものころこの日は、早起きして短冊に願いを書いて葉竹に飾りつけました▼親からはイモの葉の露で墨をすり、短冊に字を書いて葉竹に飾ると字が上手になると教えられたが、まじめにやらなかったたのでうまくならなかった。各家庭で行われていた七夕飾りも近年は見かけなくなりしました▼七夕まつりは7月から8月にかけていまま各地で行われます。神奈川県内では7月上旬に平塚七夕まつりがありました。平塚市で七夕まつりがはじまったのは終戦から6年後の1951年。復興の願いが込められました▼68回目の今年も数十万人が訪れました。会場には短冊に願いを書くコーナーもあったので、久しぶりに願いを書きました。国賠同盟が求める「犠牲者の国家賠償法の制定」が一日も早く実現するとの願いを込めて。

(鶴)

(2ページからつづく)

第32回山形県本部大会

5月27日第32回県本部大会を40人の代議員の参加で開催。中央本部の田中幹夫事務局長から報告があり、山形県の実業運動の到達と課題を明確化することができました。

昨年度は、支部事務局長の死亡や体調不良などが相次ぎ活動の勢



東京藝大で《芸術と憲法を考える連続講座》を毎月開催している。テーマの中核にあるのは「表現の自由」だ。3月には学生達と信州・

上田の戦没画学生慰霊美術館・無言館を訪れ、敷地の一角に

この2月出来たばかりの「俳句弾圧不忘の碑」も見学した。



自由な創作をして治安維持法の犠牲となった俳人らを忘れまいと作られたものだ。近くの別所温泉では土地の人が守り通した山本宣治の碑を訪れ、治安維持法と闘った先人の歴史に思いを馳せた。その理不尽さを身をもって体験

学生たちと考える「表現の自由」の意味

川嶋 均

持法の再来ともいわれる共謀罪法が強行され、改憲までが企まれる今、どうしても黙ってはいられないと、お二人は藝大の憲法講座に、近く登壇くださることになっている。

(「自由と平和のための東京芸術大学有志の会」 呼びかけ人、同大非常勤講師)

(山形・瀬野幸男)

第36回神奈川県本部総会

6月16日、横浜・神商連会館で、神奈川県本部第36回総会を開催し、



1万筆署名・1000人会員を決議。
参加者は27人。
来賓あいさつは、日本共産党

した人が、北海道に「健在と聞き、4月、後先も考えず旭川に飛び、生活図画事件被害者・菱谷良一さん(96歳)からお話を伺った。5月にはもう一人の生存者、音更町の松本五郎さん(97歳)ともお会いした。旭川師範でお二人に美術を指導し逮捕された熊田満佐吾氏(故人)は、東京美術学校(現・東京藝大)を卒業後すぐ旭川に赴任した人だ。治安維持法が強行され、改

第41回東京都本部大会

6月16日、都本部大会を開き、都本部40周年で切り開いた、前進の教訓を同盟50周年の飛躍につなげことを確認、署名3万筆、会員1300人、支部倍加の方針を決めました。

(神奈川・大益弘)

大会には、山添拓参議院議員・

(4ページへつづく)

神奈川県委員長田母神愼、畑野君枝衆議院議員(日本共産党)、増本一彦同盟中央本部会長。

17年度活動・決算報告。18年度活動方針・予算、役員を承認。

「神奈川県本部自主目標、1万筆署名・1000人会員を達成しよう。」(特別決議)を採択しました。

記念講演は「安倍政権下の日本経済―拡大する矛盾―」(講師、牧野富夫日本大学名誉教授・全国革新懇代表世話人)。「平成30年間の経済」は日本資本主義の「終わりの始まり」を示唆しているかもしれないと語りました。

会長宗形孝至、事務局長大益弘を選出しました。

(3ページからのつづき)

青年部長、共産党都委員会、民青都委員会、国民救援会、都議団から来賓の挨拶。35の団体、個人からメッセージがよせられた。

発言では、15年ぶりに2万筆を突破、会員1000人突破、支部建設、支部再建の中での活動が生きいきと語られました。

会員拡大でも、署名活動でも、支部建設と支部の確立のなかで前進できることがこの間の実践で明

第64回日本母親大会 in 高知

日本母親大会が高知県で開かれます。ぜひご参加ください。

高知県同盟女性部は、昨年12月から母親大会県実行委員会に参加し取り組んできました。

大会当日の要員や同盟としての分担など慌ただしく活動しています。

25日の夜のオペション企画「創作劇 土佐の反戦詩人、横村 浩」は県女性部長の西森良子さんが主宰する劇団「土・創」が行うものです。横村浩の没後50年の企画、是非とも成功させたいと思います。

第64回日本母親大会 in 高知

◆全体会 8月25日(土) 12:30~17:00

高知県立県民体育館

記念講演 憲法とともにあゆみつづける
～子どもの未来・くらし・平和～
渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)

◆オペション企画「創作劇 土佐の反戦詩人 横村 浩

25日(土) 開演18:30~

自由民権記念館アトリウム 参加券1000円

◆分科会 8月26日(日)9:30~14:20
高知市内8会場

らかに
なりました。
新たに
女性理事
3人を含
め、33人
の役員を
選出、会
長に吉田
万三、事
務局長に中嶋育雄を選出しました。

(東京・中嶋育雄)



佐倉支部6月結成

千葉県本部

千葉県本部は、銚子支部、船橋支部など支部作りを重視し取り組んでいます。6月には、佐倉支部を結成し、会員15人を増やした。

佐倉市の元日本共産党佐倉市議であつた須田淳子さんは、千葉県本部の中村日出丸事務局長から「佐倉で同盟員を増やし支部を設立してもらいたい」との要請を受けました。思い悩んだ須田さんは、「安倍政権による改憲『戦争する国づくり』の暴走政治はなんとしてもういとめなければいけない。そのためには同盟を強固な組織にしなければいけない」と決意し、すぐ知り合いに声をかけ5人の会員を拡大しました。

その後、「種まく人びと」を上

NHK Eテレ特集

「自由はこうして奪われた
9万9795人の記録が
映す治安維持法」

8月18日(土) 23時~23
59分、杉浦正男、松本五
郎、菱谷良一の各氏が証言。

治安維持法絶対反対貫いた山宣を 育んだバンクーバーの旅
—東京・長野山宣会共同企画/ 後援・同盟中央本部—

戦前、治安維持法に真っ向から反対し、右翼の凶刃に斃れた山本宣治。その強靱な闘争精神を育んだバンクーバー時代の山宣の足跡を訪ね、併せてバンクーバー9条の会人士との交流、日系市民の戦中強制収容への謝罪と賠償の運動に学ぶツアー。後半には、錦秋のカナディアンロッキー散策で英気を養うスペシャルコース。山宣が、定宿とし凶刃に斃れた東京・光栄館跡地に「記念プレート」設置内定と来年、生誕130年・没後90年の記念プレ企画として挙行。

◆旅程: 10月3日(水)~10日(水)・成田空港発着8日間

◆申込締切: 8月31日。旅行実施: 富士国際旅行社。◆旅行代金: 435,000円

◆旅程案内書・申込先: 藤田廣登 ☎090-4527-1129

◆現地案内: 岩下美佐子さん(同盟国際部員)

映し、そのなかで会員と共にさらに10人を増やしました。こうして、6月16日、佐倉支部が結成され、支部長は中川勝敏、事務局局長木崎俊行など役員を選出しました。

顕彰碑

最後の俳句弾圧犠牲者句碑

加才 信夫

全国の俳句弾圧の最後は秋田県

の農村だった。様々な考えを持つた若者が集まり、談論風発、自由な表現で、俳誌『蠅(さそり)座』を発行していた。1943年12月、

共産主義的、反戦的だと治安維持法違反で、編集担当の加才信夫

(本名・大河隆一)と高橋けん最の二人が特高によつて逮捕された。

俳誌に自由主義とか反戦主義とか統一された志向があったわけでは

ないが、時は太平洋戦争の最中であり、軍国主義一色、文学界では日本文学報国会が席巻していた。

戦局に暗雲が漂いつつあるとき、戦争に行かない若者が、国策の外にあつて俳句を作るなど、まさに

「非国民」だったのだろう。

加才信夫は結核を患つており、

寒さのなか拘留中に咯血し、釈放されたが、病状は悪化の一途をた

どり1946年、34歳で死去した。俳句弾圧二人目の犠牲者となった。

加才は、地主の家に生まれたが、

農民運動にも関心をもち、フランス文学や、シュールリアリズム絵

画や音楽に親しみ、才能豊かで将来が嘱望されていた。

1968年、加才と知己のあつた人達や死を惜しむ有志によつて

生誕地に句碑が建てられた。選句は「蠅座」の精神を受け継ぐ俳人たちによつて決められた。

「南風来るや観音あまた手を持ちぬ」と刻された。

いまも蠅座現代俳句研究会によつて句会が続けられている。

【交通】

JR大曲駅から車で約30分、大仙市板見内宇北畑にある北畑(板見内)神社に静かに佇んでいる。

(秋田県本部会長・最上健造)

入会・感動―西尾雪子さん

大阪・女性会「早春の集い」

に参加。若井弁護士の話に感動、入会。私は87歳。仲間に入れてい

ただき、嬉しく思う。私の兄がレッ

ド・ページで、朝日新聞社から首

を切られました。そのときの母の

涙を今でも忘れられません。私は

戦争中の人間です。食べるものな

し、着るものな

し、お米は配給

だから戦争は絶

対ダメです。戦

後の後始末もで

きていない政府

が、新たな戦争を考えるなどおぞ

ましいことです。

(「不屈」大阪版5月号より)

鳥取県東部女性部

6人会員増やす

女性部が毎年とりくんでいる

「自然に親しむ会」にいつもお友

達をさそつて参加してくださる本

部澄さん(80歳)は「これを楽し

みにしているのだが」と手製のお

菓子をみんなにふるまってくださ

います。彼女は普段から9条の会



新潟県社会運動史

研究会情報

治安維持法同盟新潟県本部

が連絡先となつて、『新潟県社会

運動史研究会情報』が今年4月創

刊されました。創刊号は、新潟県

社会運動史関連資料、25年ぶりに

復活した新潟県解放運動戦士追悼

会、同盟新潟県内の先人のたたか

いの顕彰活動です。

【連絡先】相沢寛気付。治安維持

法同盟新潟県本部。

FAX 0255・249・0282

抵抗の群像

北海道農民運動に貢献し
九州党再建・反戦を闘うにしだのふはる
西田 信春

西田信春は1903(明治36)

の仮名で参加していました。

年1月12日、北海道の岩見沢村(現市)で生まれました。父・英太郎は空知支庁文官。本籍は奈良県吉野郡十津川村。空知の新十津川村(現町)は、1889(明治22)年の山津波(水害)で被災した奈良県の十津川村民が集団移住・開拓した村。父は請われて07年、第4代村長として新十津川村に移ります。信春は村の小学校を出て、札幌一中に進学。優秀な成績で一高、東大へと進みました。ここで社会主義や労農運動を学びました。農民学校講師や小作争議を応援

29年1月から「無産者新聞」の編集局員になり、3月20日、日本共産党に入党。同年の4・16弾圧で検挙され、31年11月に保釈出獄。公判対策委員会に所属し、獄中の中央委員との連絡を担当。32年7月5日、懲役5年を求刑されました。しかし西田は党の九州オルグとして村田、坂田某などの仮名で福岡に向かっていました。

旭川の荒岡庄太郎が農民組合結成のために幹部養成の「夏季学校」を開きます。講師には、松岡二十世(はたよ)、北大社研の高倉新一郎・東隆等もいました。その講師の1人として西田は伴要一(男治?)

党再建、侵略反対で虐殺される

3・15弾圧で壊滅していた九州地方の共産党再建、全協や全農などの大衆組織を作り、満州や上海等への侵略反対の闘いを組織する

ことが西田の任務でした。党九州地方委員会は12月に再建されます。再建会場となった船小屋温泉・肥後屋旅館を5年前、筆者は確認してきました。

会議で、西田(村田)は反戦闘争の重要性を強調。入営兵の家族の慰問、実戦者によって戦争の残酷さを一般に知らせるなど具体的な活動を提案。中国侵略の中心は九州の第六師団で、「爆弾三勇士」など、後に教科書にも載った「ねつ造」を暴露する必要があると述べた。会議ではまた農民組合福佐連合1200人や全協労組8組合の結成等も報告されました。

しかし、スパイの暗躍もあり、翌33年2月10日白昼、西田は宮崎栄・久留米細胞長と会うために出かけ、西鉄久留米駅前で逮捕されました。福岡署に連行され、翌朝にかけ10数時間にも及ぶ拷問を受け、虐殺されました。

「紀元節」の翌11日、福岡を中心に九州一円で508人が検挙され、80人が起訴される大弾圧で新聞には「日本共産党九州派遣オルグ坂田某」の記述はありましたが、

起訴者にはありませんでした。11日早朝に殺されたのですが、権力は虐殺を隠し続けました。

戦後、虐殺の真実明らかに

戦後も、父母や妹は信春の帰宅を待ちましたが、真相は、1955年に西田と共に闘った党员・紫村一重が党中央に手紙を出してから調査が本格化しました。

西田の書記をしていた牛島春子が、九州大医学部で「解剖報告書」を見つけて書写し、「報告書」を書いた石橋無事氏から、特高らが語った虐殺の真実を聞き出すことができました。

「あんまり白状しないから…足を持って2階から階段を上から下まで引き下ろして、また下から上までぐつとやって4、5回やったら死んじやったんですよ」と、亡くなった時間は「報告書」から午前2〜3時頃と推定されますが、遺骨は全く不明です。

北海道の新十津川村に碑が建立されたのは90年。以後、毎年2月11日、同盟北空知支部等が主宰して碑前祭が行われています。

(同盟北海道本部会長、宮田汎)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

卒寿われ「家事と介護に疲れる」と言う時少し恩を
着せていないか 大分県 渡辺 幹生
国賠の国会請願45年歴史の裏の涙を知りぬ

大阪府 堺谷 肇夫

枇杷の実をいっぱい並べ迎えんかわれらの仲間平和
行進を 静岡県 江川 佐一

給食で食べる米をば田植えする稲作体験なり島根の
子ども 島根県 小玉 信恵

「再審」に道理を認む怯み無く支援貰く「袴田事件」
岩手県 小杉 正夫

共に世を愛いしことあり隣人に認知症きざすも通信
配る 岐阜県 田中 良

今を生き明日への望み抱くわれ市民と野党の共闘切
なり 島根県 大久保禮吉

横田基地には米軍とオスプレイ智恵子は歌う東京に
は空がない 埼玉県 福家 駿吉

病みあがり護憲署名のよびかけに老婦戦争はダメと
かけよって 福岡県 元山章一郎

検察は国権に付度か不起訴になりて民は怒りむ
兵庫県 岸本 守

〈選のあとに〉渡辺作品の下句「少し恩を着せてい
ないか」は、厳しい自己凝視が、実は妻への愛の深
さと表裏一体になっている所に、表現の上でも新鮮
さを生み出しています。堺谷作品は、国賠同盟の五
十年の請願運動の苦難の歴史の重みを歌っています。
江川作品には、平和行進を迎える、その連帯とやさ
しさを枇杷の実に托して表現、心を明るくします。

俳句

越中碑文嬢らの声米騒動

望月たけし選

休憩も光る跡引きなめくじり 石川県 野村 芳泉
雲の形春から夏に国会へ 岩手県 畠山 文裕

鳩よ飛ベシンガポールへ夏の空 神奈川県 天野三葉子
紫陽花や吹かせアジアに平和の風 埼玉県 小池 莊八

〈評〉一句目は富山の米騒動。「碑文」から嬢の声
が聞こえるという感性がいい。俳句はこのような持
ち前の抒情をいかし、安倍内閣を退陣に追い込む弾
丸のような、詩語を生み出した。

川柳 鈴木いさお選
不起訴だがしかしあいつがやったこと 宮城県 根本 京子

〈評〉検察が被疑者を不起訴とする判断基準は一体
どうなっているのだろう。司法が行政に付度するよ
うなら、この国の根底が崩壊する。
傲慢の極み付度堂々と 大阪府 大和 峯二

リスペクト無き人威張る財務省 埼玉県 福家 駿吉
ウソつきのドン庇うためウソ重ね 鳥取県 大久保禮吉

東芝と日立が灯り消してゆく 大阪府 佐々木雅博
(新人の方の応募歓迎です。締め切りは毎月15日)

創立50周年記念会員拡大
5人以上の顕彰者

(第8次発表2人・累計86人)

【北海道】1名(累計13人)

横山 博子

【鳥取】1人 本部 澄

引き続き、「顕彰者」の掲
載を継続します。5人以上拡
大に挑戦しましょう。「10人
拡大」を突破された方は、記
念品を贈呈しますので県本部
を通じてお知らせください。

訃報

浜林正夫さん死去

同盟会員『治安維持法と現
代』誌命名者で、多喜二研究
者・一橋大学名誉教授の浜林
正夫氏は、去る5月19日逝去
されました。92歳。

「偲ぶ会」は、同盟中央本
部も参加する実行委員会主催
により9月26日(水)午後1
時から、所沢市民文化会館ミュー
ズ小ホールでおこなわれます。

《沖縄県本部リポート》

6月11日、米軍F15戦闘機が那覇市沖に墜落した。読谷村で空からの米軍大型トレーラーが小学5年の女の子を圧死させたのは53年前の同じ日である。復帰後も米軍機の墜落事故は50件以上。そして安倍政権の容認のもと、米軍は2日後にF15の飛行を再開させた。

半年前には宜野湾市の保育園や小学校への米軍機部品の落下事故。小学校では児童の避難回数は半年間で527回になった。「沖縄の

青い空に命を脅かす米軍機は飛ばすな」「辺野古の青い海に戦争につながる基地はつくるな」「普天間基地は閉鎖・撤去せよ」、県民の怒りの声がひろがっている。

政府は、8月17日に辺野古の海に土砂投入を通告してきた。

県民のたたかいで追いつめられているのは政府だ。翁長知事は「躊躇なく必ず埋め立て承認を撤回する」と改めて明言した。これ

からが正念場だ。県本部も全国と連帯し闘う。(沖縄・村山 純)

事務局日誌

- 6月1日 池田ちかこ新潟知事選候補に敬文
- 6月8日 「不屈」編集会議
- 6月10日 安倍内閣退陣国会行動
- 6月11日 紹介議員要請行動
- 6月15日 会長、事務局合同会議
- 6月16日 東京都本部大会、神奈川県本部総会
- 6月19～20日 大分県本部対策
- 6月22日 国際人権活動日本委員会幹事会

『抵抗の群像』第三集

無名の人々が歴史をつくる

『抵抗の群像』第3集に深い感銘を受けました。3集目ともなればいくらか単調な繰り返しになるのではないかと危惧もあつたのですが、とんでもない思いがいでした。こんなにも大勢の無名の人びとが、それぞれ個性豊かなたたかいを展開して歴史を切り拓いてきたのだということが、いっそう切々と迫ってくる素晴らしい記録集になっています。

私がこの運動に参加してから個人的な接点があつた人も紹介されています。たとえば埼玉の岸二郎さん(p63-65)。その末っ子だという原田隆子さんから「父の思い出」を聞いたことがあります。あるいは神奈川の大石重一さん

(p86-88)。川崎支部結成時にはまだご健在でしたが、間もなくご家族から訃報をいただき、ご家族と文通した思い出があります。字数制限のため紹介記事は思い切つて省略されていますが、その向こう側に豊かな人間ドラマが隠されていることを痛感します。

この記録集を手掛かりに、ちよつと関心を抱いた人のページに立ち止まってみて、資料を集めたり、証言者を探したり、実績をたどる探訪をしたり、ミニ研究会を開いたり、魔法の扉を開いて、無名の人びとがつくった歴史を旅することをおすすめしたいと思います。

植田泰治(神奈川・川崎支部)

2018年春季号

『治安維持法と現代』

発売中

治安維持法と現代



【主な内容】「明治150年」史観の歴史認識を問う=山田朗明治大学教授。創立50周年を迎えて一同盟運動の今日的意義と展望、課題=増本一彦会長。2017年度請願受諾国会議員一覧(顔写真付)。告発「猿ぐつわ・後ろ手錠」—横浜事件・森数男メモ発見=森伸一。《多喜二没後85年》多喜二とロマン・ロラン—幻の抗議文=高橋純小樽商大名誉教授。『戦旗』防衛三重会場=岡村洋子。「種子は蒔かれた」—『アサヒグラフ』掲載の生前最後の写真とインタビュー=藤田廣登。歌を通して伝える先人のたたかい=ケイ・シュガー。(顕彰碑)「俳句弾圧不忘の碑」建つ。窪田精の生涯と文学碑。《抵抗の群像》「埼玉人民戦線事件」。同盟運動=北海道同盟の組織建設など。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟